

令和元年度 第8回旭市学校再編計画策定委員会 会議録

1 期 日 令和2年3月27日（金） 開会 午後1時30分
閉会 午後3時30分

2 場 所 旭市役所 本庁舎3階委員会室

3 出席者

会	長	加瀬	正彦（副市長）
副	会	長	伊藤 啓子
委	員	富山	理
委	員	伊藤	英希
委	員	石毛	宏典
委	員	渡邊	錦一
委	員	小倉	和也
委	員	伊藤	義隆（財政課長）
委	員	井上	保巳（行政改革推進課長）

《事務局》

庶務課長	栗田 茂
庶務課副課長	飯島 和則
庶務課施設班班長	八馬 裕樹
庶務課施設班副主査	林 義樹
庶務課施設班副主査	小林 尚嘉
庶務課施設班主事	勝又 智紀
学校教育課指導班班長	岩井 玲

4 開 会

・事務局

年度末のお忙しいなか、お集まりいただきまして、ありがとうございます。これより第8回旭市学校再編計画策定委員会を開会いたします。また、本日、学校教育課長が欠席ということで報告を受けております。

それでは、会議の前に、加瀬副市長からご挨拶を申し上げます。

5 副市長あいさつ

ほんとに年度末、しかも3月の月末に近い日ということで、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。この会議も視察を含めて第8回ということになります。いま世界中で新型コロナウイルス対策、国のほうも感染症の対策本部を設置したということで、少し人口の密集しているところが大変な状況になっているということかな、ということであります。旭市もこの対策については、2月の下旬に本部会議を設置いたしまして、ずっと会議を進めてまいりまして、その中で学校等の休みもお願いしたところでありました。ただ新年度4月からは、学校につきましては、3つの密、いわゆる近くで喋らない、たくさん集まらないとか、そういう所に十分注意をして消毒もしっかりしながら普通に学校を開設していけるだろうということで、4月からは通常の形で学校を開設していくこととしておりますので、その辺のご理解を賜ればなと思っています。あと、前回の会議の中で、先に中学校の件について協議をしていただきました。その中では、ほぼ〇校という案が一番多くの委員さんに支持されたところであったと思います。その中で、〇校にした場合はどうなるのかということで、案を事務局のほうで作って今回また会議で示していただくと、そのようなことを考えています。あと小学校については、さらに議論が必要だということで、またその小学校の統廃合についてどのような形で進めれば良いか、そこのところは更にご意見をいただきながら、慎重に検討してもらえればなと思っています。あと会議の中で、地域の意見を全部聞いていくと、なかなかまとまらないんじゃないかというご意見もございました。そういう意見を踏まえまして、とにかくこの会議の中での素案というのは、やはり作り上げていく必要があるだろうなと思っています。その辺はご理解を賜ればな、と思います。あともう1点、小学校についても、例えばこうしたらどうなるというご意見もございました。そこの部分についてもひとつシミュレーション的に事務局のほうで考えたものもごございますので、そこについては、改めて説明を受けながら資料を参考にさせていただき、ご意見を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。それでは本日時間も限られておりますので、率直なご意見をいただきながら会議を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

6 議事

・事務局

ありがとうございます。これ以降の議事については、委員会要綱に沿って、副市長に進行をお願いしたいと思います。

・議長

それでは、議題に沿って進めてまいりたいと思います。まず「他市の学校建設等について」とい

うことで、これについては前回、事業費の関係のお話がありましたので、そのへんの資料を揃えてあるということですので、事務局のほうから説明をお願いします。

・事務局

議題（１）の前に、弥富小学校の複式学級の件が一部説明の訂正がありますので、そちらを説明させていただきます。

・事務局

資料１－１ 佐倉市立弥富小学校視察の概要（修正）

議題（１）他市の学校建設等について

資料１－２「他市の学校建設等について」により説明。

・議長

いま財源等について、それから建設費全体の数字について何か確認したいところがあれば、ご意見等いただきたいと思います。

・委員

みらい学園の規模を教えてください。クラス数もどれくらい想定しているか。

・事務局

延べ床面積につきましては、14,300 m²になります。みどり学園については、延床面積は7,127 m²ということで、約2倍の面積となります。クラス数については、みどり学園については1年生から6年生までのクラス数は12で、中学校のほうは6で、各学年2クラスずつです。児童数につきましては、1年生から6年生が258人、7年生から9年生は115人という形になりまして、みらい学園につきましては、数を把握していません。

・委員

下総みどり学園は中学校がもともとあって、小学校を建てたということで、体育館が2つあるじゃないですか。大栄みらい学園のほうは、体育館は1個ということですか。

・事務局

体育館は1個です。

・委員

改築工事に伴う付帯工事の中の一番下のところで、みどり学園もみらい学園も金額が出ているんですけども、これには解体は含まれていないということですか。解体を含めた総支出では、みらい学園も同じ額くらいになるということですね。

・事務局

そうです。

・委員

飯岡中学校の場合なんですけど、予算は単年度では済みませんよね。

・事務局

飯岡中は用地の手当てもありましたので、本体だけだと約2ヵ年というようになります。

・議長

これは、あくまでも前回の話の中でそれぞれどの程度で工事ができたのかな、ということがありましたので、今回示させていただきました。平米単価はそれぞれ出してありますけども、みどり学園よりもみらい学園が高い。時期も違うということもありますので、そういったところはあるのかなと思いました。それでは続いて「(2) 市内の学校施設と地域の状況等について」ということで、今回事務局で資料を作りましたので、説明をお願いしたいと思います。

・事務局

資料2-1「干潟小・嚶鳴小周辺の将来ビジョン」

資料2-2「一中と二中の活用方法について」により説明。

・議長

いま事務局から資料2-1、2-2について説明がありました。前回、意見の中でこういうことができるのではないかと、ということ踏まえて作った資料だと思います。これについてご意見等を伺えればと思います。

・委員

中学校についてなんですけど、二中はまたマンモス校のままいくのでしょうか。このままの考えでいくと、マンモス校が続いて、きめ細やかな教育というのができないまま行っちゃうのかなという気運がちょっとあります。

・議長

直ちにそのようになるという事ではないと思いますので、例えば2040年だと700人程度ということになった時は、いま通っている生徒の数からすると相当減っている、そうするとマンモス校の基準というところのくらいでしたっけ。

・事務局

文科省から出されている標準として12～18学級というようなクラス数ですので、それ以上という形になるということですかね。

・委員

いま、7～8クラスだったと思うんですよ。

・議長

20年後で行けば、各学年250人を切るような数字であると、6クラスぐらいなんですかね。

・事務局

先日、小学校のパターンの人口推計も出しているんですけども、また学区の再編のなかで人数も多少変わってくるのかなと思います。

・議長

これは、あくまでも前回の意見を踏まえて、例えばこの地域でこういう形をとってみたら、という円を描いたものとなっています。これは色分けの通りと行くと何校分入っているの。

・事務局

現在の一中と二中の生徒数が全部入っています。

・議長

そうすると、7校分全部入っているということ。

・事務局

はい、ですからパターンで示したものとちょっと違いまして、いまの一中、二中の学区が全て入っているという計算になっております。

・議長

そうすると、学区を分けるという議論もまた出てくる可能性もあるということですね。その他、ございますか。

・委員

グラウンドが部活をやる分には狭くなるという試算のようなんですけども、そういうのってどのくらい部活があれば、どのくらいのグラウンドが必要になるという基本的なところはあるのでしょうか。このくらいの規模だったら、このくらいの面積必要だとか基準とかは。

・事務局

体育館ですと、人数によって、学級数によって床面積の基準があるんですけども、グラウンドのほうに関しては特に規定はなかったです。ですので、飯岡中を新しく建てたんですけども、学校の希望を聞きながらという所と、ある程度面積が決まっていたので、その中でレイアウトを振ったというような形になっています。

・委員

ちなみに、野球をグラウンドで使っちゃうと、あとは何も使えなくなっちゃうような。ソフトボールは第2グラウンドがあって、野球と陸上とテニスと一緒にやっているんですが、普通の試合とかいう感じでやると全然使えなくなります。

・議長

それは確かに都市部の中学校と同じような場合になると思います。すべてのために面積を確保するのは難しいと思うので、どうしても共用でグラウンドを使うような形になると思います。

・委員

小学校が14時とか15時とかに終わって、学童が多少いるとしてもグラウンドが空いていますから使ってください、みたいな共用は考えられないですか。近くに第2グラウンドがあるんですよ。共有資産をある程度、融通を利かせるといった動きは可能なのでしょうか。

・事務局

先日見に行った、山田小と山田中、あれは同じ敷地の中でというようなレイアウトとなっておりますので、あとは、小学校と中学校で連携しながら、という運用は可能かと思います。

・ 委員

いまのところはないですね。

・ 事務局

ないです。

・ 議長

二中だとなかなかグラウンドに行くにしても、多少の移動が必要となるという所が現実的にあると思いますので、二中には文化の杜公園にテニスコートができていて、そののこのところを使っていたりとか、そういうのをしていたので、卓球は市の卓球場を使っていたりだとか、あれもこの先どうなるかというのはありますけれども、ただ、施設はやはり工夫して使っていくというのは、必要となってくると思います。

・ 委員

市役所の跡地利用はどうなるのでしょうか。

・ 議長

ここも具体的に芝生広場みたいなものができるんで、そうすると何かトレーニング的なものは、やればできるんじゃないかなと。基本的には芝生広場だけなんです。

・ 委員

一中と二中は、今の編成のままで統合した場合ということですよ。あり得ないことでしょうかね。

・ 議長

意見を出していただいて、案を示して、皆さんが良いなと言ったのはもうちょっと上のほうの〇〇だとか、あの辺の学区を違う学区にという、そういう案であったということで。ただ、その部分もそれで決定していたわけではありませんので、人数的にはその案が望ましいのかなという、あくまでもそののこのところで、最終的には〇校程度でまとめるのが良いんじゃないかという、そののこのところで今回は、この後の議論の中でも資料をお出ししますけれども、事務局のほうで作ってあります。その他、一応小学校に転用した場合というのもお示しましたけれども、これについて何かございますか。

・ 委員

〇〇と〇〇みたいなものありですね。

・ 委員

〇〇小を〇〇中というのも有りですね。

・ 議長

現実的に考えた時には、10年経って417人なんですけども、20年経つと336人なので6で割ると各学年に56人しかいない。そうすると〇〇小が入ってもそんなに問題ないんじゃないのということになる。その頃に目標として再編するのであれば、こういうことも想定できる、それも

ひとつのご意見ということであると思います。

・委員

早急にやるんだったら議論の仕方違いますけども、長い目で見るとしたらこういうのも、どんどん違う所とくっ付いていくような。

・議長

報告書の中で、例えばここを最初にやって、次にここをやって、この年次でこういうスケジュールで行ったらどうでしょうか、と示すのもひとつだと思いますので、そうした時にはそういった書き方もできるんだろうなと思います。それでは全部説明して、その後に前のご意見でも構いませんので、「(3) 中学校の再編計画案について」ということで、資料3と4の説明をお願いします。

・事務局

資料3「建物築後経過年数一覧表」

資料4「中学校の再編計画（たたき台）」により説明。

・議長

事務局から資料3と4の説明が終わりました。あくまでも学校の耐用年数、それと中学校〇校にした場合、皆さんのご意見を参考に仮にスケジュール的なものを作ってお示ししたところであります。これについてご意見を伺いたいと思います。いま事務局の説明にありましたとおり、特に中学校の再編の中で、〇校にしていくというのは皆さんそれほど異論は無かったのかなと思っていますけども、ただ旧〇〇地区の〇〇小、〇〇小、〇〇小学校、この取り扱については、やっぱりどうしても流動的にならざるを得ないんだろうなというのがあります。仮にここが北側のほうに入っていくということになった時には、今の〇〇中学校の所で施設を更新するのは、なかなか理解を得られないのかな、そういう思いはあります。それと資料3のところ、〇〇中学校自体がやはり2030年を過ぎますと、どうしても建て替えの検討していくような時期に入ってくるということがあります。そうしますと、そここのところに手を付ける必要が出てくるということです。それをどういう形で建て替えるか、その建て替える時に統合して建て替える必要が出てくるのだろうと。逆に小学校の中で、一番年次的に厳しいのは実際には〇〇小学校もありますけども、〇〇小学校、この建物本体は、やはり校舎が古いんですね。そうしますと、この2030年を過ぎていくと、やはり建て替えの考えをもっていかざるを得ないということもあります。じゃあ、新たに同じ場所に建て替えるというよりは、この〇〇小もどういう形になるのが理想なのかというのは、今回の計画の中に書いていく必要があるだろうと、そのように思うところでございます。中学校の考え方なんですけども、前回〇校で皆さん概ね異論が無かったように思います。その中で、資料4の①と②については、まだ確定させないほうがいいのかと思うんですけども、そのへんご意見があれば伺いたいと思います。

・委員

現実的にこのエリアを決めてしまうと。北に魅力的な学校があれば嬉しいんですね。〇校が

ほんとにベースだと思うんですけども、2060年、2080年を考えたときに、東西で行けるように、〇〇地区と〇〇中とかある部分を1校で賄える位置にあるのが良いのかな。そうすると〇〇小学校の南西あたりに良い土地があればいいかと、そうすると、小学校の統合もどうぞいっちゃい、保育所なんか北のほうにあまり無いんですよ。そのへんもいっちゃい、ひとつ教育のまちじゃないですけど、注目されるみたいな。義務教育学校だとすごく大袈裟になってしまうので。

・議長

〇〇委員のご意見としては、最初〇校でもいいけども、将来的に2060年とか、その先を睨んでいった時には〇校で良いんじゃないかと。そうすると当然、東西を区分するラインも変わってくるかもしれませんが、それを睨んで北側の学校は場所を選んだほうが良いんじゃないの、ということですよ。そういうご意見もあるということで。これもある程度、中学校については、策定委員会なので、〇校にまとめていくとなった時には文書として書き表していかなければいけないので、その辺の文書について、事務局のほうで原案を作っていくということについて、何かご意見があればお願いします。

・委員

〇校にしる、何校にしる、提示するからには、その根拠が明確じゃないと、現在ある各学校のP T Aないし、なかなか説得できないので、最初から意見を聞いて考えることは必要ないと思いますけども、やっぱり説明にはそれなりの根拠なりを書かないとなかなか理解していただけないと思うので、その3つにまとめる案、特に2番目の統合中学校を新設することは、結構魅力的だから、微妙な〇〇、〇〇、〇〇小学校がその北側の②に入ることについて、気持ちの上で多少障害があったとしても、新設するという魅力もあるし、そういった意味で結構この3つの案も最終的にはわかっていただけの案かなと思うんですけど、次のページにある生徒数の推計の備考のところ根拠にあたる部分かなと思うんですけど、これをもうちょっと充実させて、しっかり提示することが大事かなと思いました。

・議長

ありがとうございます。確かにこうした理由というのは、きちんと書き込んで説明していく。それがブレてしまうと、また、いろんな議論を呼んでしまうことがありますので、そのところはまず、これが一番良いのではないか、そのための根拠をしっかりと捉えて文書化していくのが、中学校についてはしてみたいと思います。それについて、各委員さんよろしいですか。

・委員

個人的な意見としたら、もし〇〇中学校でしたら、今の〇〇中学校と〇〇中学校の学区を変えずにやったほうがいいのか。なぜかという、長期的に考えてとおっしゃいましたので、15年後を踏まえますと、そんなに今の〇〇中と変わらない生徒数になります。〇〇委員が言ったように、もうひとつ中学校を合併する、東西にするということでしたら、まず過去の学校があって、〇〇が

少なくなったから統合しましょう、というほうがすんなり行くのかなと。2重になっちゃいますが、そっちのほうが、変な軋轢を生まないで良いんじゃないかなと思います。長期的に人数が減ってきたときにやるんで、今までの〇〇中と〇〇中の学区を統合して、〇〇地区中という形のほうが良いんじゃないかなと思いました。

・議長

ありがとうございます。そうすると、ひとつの問題として、②の区分のところに新設の学校を造るかどうかという、その部分も今の部分の中では入ってくるかと思えます。仮に〇〇〇中の学区で旧〇〇をある程度まとめてしまうのであれば、今の〇〇地区を無理にこっちにというのも無くなってしまいうんで、ただ、そのところはやはり、子供の数とか、そういうところも踏まえて根拠を示していくことが必要なのかなと思いますけども。今の〇〇委員の意見についていかがですか。

・委員

〇〇地区あたりに新設を考えれば、北の方からも来れるし、南の方からも、という話だったんですけども、そしたら、新設は〇〇中学校あたりを考えているということですか。

・委員

一番良いのは、国道近辺ぐらいが一番良いのかなと。あまりにもみんなが歩いて来られないような辺鄙な所でもしょうがないし、ある程度、外灯とか防犯も充実しているところじゃなかったら、学校ってどうなのかな、と思うんです。

・議長

市の立場で新設について何か。

・委員

②の中学校の新設の箇所と、旧〇〇と一緒にした中学校、そういった考えがありましたけども、ほんとに10年20年であれば、中学校〇校でも良いのかなと思うんですが、もう少し先を考えますと、やはり〇校ではその時点では数が多いというようなことがありますので、将来的にはこれを〇校にするのか、ホントに1校にするのかということも含めて考えていただきたいと思っております。〇校の割合で②の地域に新しい中学校を、というのであるならば、確かに〇〇小学校付近、なるべく国道沿いの方が良いとは考えますけども、やはり土地の問題もあるし、空き地がどれだけあるのかということもありますので、そういった選定の問題もあるということなので、非常に難しいところだと思いますが、ただ、〇〇地域だけの中学校となりますと、私〇〇の生まれなんですけど、〇〇中学校自体が存続も厳しいようなところに、生徒数がきていますので、それについての考慮もしていただきたいと考えます。そうすると、案としては〇〇中学校がバス等使ったなかで、例えば今の〇〇中学校に思い切って通わせるという案も、もしかしたら可能なのかなと考えております。新設しても何十億という費用もかかりますので、そしたら50年60年70年その場所に学校を残すという考えを持っていただきたいです。

・ 委員

実際この位置だと、国道の南側だと、○校から○校になる可能性になっても、違和感が無い位置ですよ。

・ 委員

位置の決定はホントに必要なだと思います。

・ 議長

非常に長い先を考えていかなければならないというのはあります。

・ 委員

もう1点言わせていただければ、○○地域の小学校が○校一緒になったとしても、やはり生徒数が少ないということもありますので、前回意見も出たと思いますが、②の区域においては、当初は統合中学校で良いんですが、どうせ新設するのであれば、将来、小中一貫校というの也被考えられるのかなと思っております。

・ 委員

いま○校にするとか、○校にするとか、かなり先の話までといった話ですけども、当面はこの○校の中で、どういうふうに行くのかを中心に考えていかなければならないと思います。そういった中で、それを考えつつ、○校になったら北の学校については、どこら辺の位置があるのか、というのを付随的に考えていけばいいのかなと思っております。○校にするというのは、今の時点でそこまで考えるとちょっとまとまらないんじゃないかなと思っております。

・ 議長

やっぱりそれぞれ意見があるので、個別に聞いていくとどうしても色々な想定をしながら文書を書いていかなければいけないということがあります。ですので、まず事務局の方で一回文書の案1, 2, 3でも良いんですけども。あと○○委員、いかがですか。

・ 委員

いま○○委員がおっしゃったように、あまり先を見ると話が絶対まとまりませんので、現状は○校が有りかなと。もうひとつ、事務局から話があったように○○の方を急いだほうが良いのかな。それは、特に部活動が成立しないところがありますので、急いだほうが良いのかなと思っております。ただ、そうなってくると今のところの案としては、新設というとなると、時間がかかってしまうのかなというのが非常に悩ましいところですけども、まず○校というところで、案を作ってもらって進めるのが良いのかなと思っております。

・ 議長

ありがとうございます。○○委員いかがですか。

・ 委員

自分も○校が良いと思っていて、統合中学校をどこへもって行くのかとか、長い目で見すぎても、

ちょっとわからないと思います。

・委員

1回建てたら80年と言われるとね。

・議長

実際は、途中で改修が3回入るんですけどね。〇〇委員いかがですか。

・委員

やっぱり2050年とか60年とか、ある程度のところを目標にした形でやっていったほうが良いと思うんですよね。一応、今の人口の流れ的にいくと、大体こうなるでしょうということなんですけど、ホントにどういう産業が生まれて、どういうふうに関口が増減していくかは、わかりませんので、あまり遠くを見すぎるとどうかなと。とって、あまり近くてもしょうがないんですが、大体例えば40年後とか、ある程度絞った感じのほうがいいのかなと思います。

・議長

ありがとうございます。資料4の2ページ目ですか、事務局の方で再編のスケジュールというのが、意外と年数が早いような気がしたんですけど、こういった形で作ってありました。例えばこれがもう5年くらいずれたパターンというのがあるのも良いのかなと。10年ってすぐ来てしまいますので、②を統合して10年でできるかな、というのは私としてもあります。

・委員

いま〇〇中なんかは、部活が4つ減ってと言っていたので、実際〇〇中から〇〇中へどうぞ、というのは、それは短期に入れても良いんじゃないかと、すぐに稼働してもらっても、人数にもホントに部活もそうですけど、クラスも1つ、〇〇小と〇〇小が統合しても、その人数しかいない状態で、そしたら早めに統合にもっていてもいいんじゃないかと。統合中学校②っていうのは、どういう学校にするかというところから始まって、場所はどこで、そういう議論を長々とやるのであれば先にやってあげたほうが喜ばれるのではないかなと思いました。

・議長

ありがとうございました。確かに既存の施設を使って、ちょっと改修を加えればできるというのは、それは〇〇中学校が〇〇中学校に行って、〇〇中学校を〇〇統合小学校にしてしまえば、ひとつのモデルケースになるのではないかとということもあるかと思います。

・委員

やるんだ、統合するんだ、はじめの一步なんだというのを見せるのにはすごく良いのでは。

・議長

実際の進捗を考えた時には、そこが一番早いかも知れません。それはひとつの案として、小学校の統合も入るので、②と③の矢印を一緒ぐらいにしておいたほうが良いのかなという感じはします。〇〇委員いかがですか。

・委員

やっぱり既存の施設を有効活用していくというのは、やはりお金がかかることなので、とても大切なのかなと考えると、例えば先ほどから何度か出てきていますが、〇〇中学校を2つの小学校として使う。それで〇〇学校と併せるとか、または、〇〇中を改装して〇校で使う形で、既存の施設を使えるところは使って行って、どうしてもちょっと無理な上の方の〇〇中学校とか、〇〇小学校、〇〇小学校、〇〇小学校をどういうふうにしていくかを考えて行って、〇校でいくのが一番良いのかなと思います。特に〇〇中学校は生徒数も少ないですし、小学校〇校も少ないですので、ここを早めに何とかしてあげたいなというふうに思います。

・議長

ひと通り皆さんからご意見をお伺いいたしましたので、いま中学校の件については、再編計画策定委員会としての方向性の記述みたいなのは作れますか。

・事務局

はい。

・議長

皆さんの意見を聞いた中で、こうしたほうが良いんじゃないかというご意見をいただいていますので、それについて事務局が文書化をして、それについてこういう記述じゃまずいでしょう、もう少しこういうしたほうが良いんじゃないかという意見を頂かないと、この先進めませんので、それをまずやってみたいと思いますので、ご了承いただけますか。

-----委員了承-----

・議長

それでは、中学校については、そのように進めさせていただきたいと思います。スケジュールの件は、もう少し早くできるところもあるんじゃないか、そういうご意見もありましたので、そのところを踏まえて、少し記述を考えていただきたいと思います。その中で、課題も当然出てきますので、その時の課題を解決するためにはこうする必要がある、というところも含めて出させていただいてということにしたいと思います。難しいかもしれませんが。

・事務局

あと、事務局の方から、いま中学校〇校という形で方向性が見えましたので、いま〇〇委員が言ったように、既存学校がいつの年数、いつの児童生徒数で入れるのかをシミュレーションをお出ししたいなと思っております。それともうひとつ、机上で図面を用意しますので、小学校の再編について学区もあるかと思っておりますので、すこしテーブルを寄せて図面のほうで皆さんのご意見を頂けたらなと思います。

・議長

いま事務局からシミュレーション的なものを図面を作ってというような話がありました。それに

については、そのようにさせていただきたいと思いますのでご了承いただきたいと思います。よろしくお願ひします。前回の会議の時に、中学校は概ね方向性が出てたので、それで事務局のほうにシミュレーションなりの案を色々と考えてもらってあったんですけども、小学校については、前回の時に次回の会議に送りましょう。ということにしてありました。小学校について、いま中学校がある程度固まってくると逆に小学校をどうしたらいいのかというのが出来てくるのかなと思いますので、その辺、小学校についても仮に案があればお願ひしたいと思います。案というか、意見ですね。

・ 委員

中学校の学区を決めていくという過程でやるのか、それともまだ①②は流動的にやるのかで学区も全然違っちゃうんで、なんとも言えないんですが。

・ 議長

事務局は案を作る。

・ 事務局

先ほど言ったように机上で、図面の中でどういった学区というところを含めて少しご意見をいただきながら、図面の方と照らし合わせながらやっていけたらなと思います。その中でシミュレーションを含めて資料を作りたいなと思います。

・ 議長

では、そのような形でシミュレーションをしてもらう、実はこれはずっと同じ議論で結論が出ないということは、できれば避けたいと思います。すくなくとも秋くらいには、ある程度中学校のかたち、小学校のかたち、こうかたちで行きたい。それに対する文書、再編計画素案といいますか、そこら辺を検討していただけるように持っていきたいなと思っています。そのためには、最低でも次回、この先の小学校をどうしていくかというのを、少し議論いただかないといけないかなとおもっております。小学校も特に非常に小さな学校が発生してくるという状況があります。たしかに地域の中でその施設があったほうが良いというご意見もございましたので、そのところもあるんですけれども、少なくともすべてを残すのは厳しいだろうと。少なくとも半分くらいにしていかなければならない、場合によってはもう少し。そういうこともあるだろう。そうした時の事も踏まえて進めたいと思います。その小学校の再編については、いま意見があればお伺ひしたいと思いますが、いかがですか。

・ 委員

人数を基にするのと、既存の設備を使うというのを考えたときに、例えば10年先のデータを基に考えていたんですけども、先ほど一番手っ取り早いのは、〇〇小と〇〇小を統合して、〇〇中を使わせていただいて、その上の〇〇中学校に通っていた〇校は一緒にするとちょうど400人ぐらいですので、そこで既存の施設を使えれば小学校を使って統合できれば1校で、〇〇中学校に将来的に通う子供たちは2つの小学校から1つに通うパターンがあるのかなと思いました。こちらの〇

○中をそのまま使うということになれば、○○小は大きいので、そのまま、その下の○○、○○、○○小学校を一緒にして、○○中の校舎を改修して小学校で使えば良いのかなと思いました。将来的にこの子たちが○○中に通って、2つの小学校が一緒に通って、○○中になると。あと上の方は、○○中学校に通っている○校が非常に少なく、10年後でも199人と少ないんですけども、この○○、○○、○○とこの3つを合わせちゃうと700人を超えるということで、そのキャパを入れる学校を造るというのは大変なことなので、下の○校でひとつ、○○中学校に通っていたところで一つ、ということでどこかの施設を使って、中学校はこの2つの小学校が入れるように新しい中学校を造るのが良いのかなと考えています。

・議長

ありがとうございます。いま○○委員からお考えをお示いただきました。ある程度現実に沿った形での考え方だなと思います。しかも、人数それから施設の状況を踏まえたうえのことだと思いますので、今のご意見について何かあれば。別の考え方もあればお伺いしたいと思います。

・委員

○○委員からそう言われちゃうとそれ以上に言いづらくなっちゃうんですけど、中学校の方がある程度決まらなないと、ちょっと考えづらいのかなと思っていて、やっぱり既存の施設というところでもパターンによって変わってくると思いますので、いま具体的にこういうのが良いというのは出せないんですけども、いずれにしても中学校のところをある程度決めていってからのの方が意見が出しやすいのかなと思います。

・議長

○○委員のご意見もありますけども、○○委員のご意見のとおり、中学校を固めたほうがその後の意見も出しやすいようであれば、まず中学校の方をある程度固めて、その先に小学校のほうを考えていくということにしたいを思います。またそれぞれいただいている意見、それから前回アンケートを取って、小学校をこうしたほうがいいんじゃないかというご意見もありましたので、そのところをもうひとつ整理してアンケートの結果はこうでした、というのを出しつつ、中学校の部分を議論するという形をとりたいと思います。それでよろしいですか。

-----委員了承-----

・議長

そのとおりに進めさせていただきたいと思います。なかなか進まないところもありますけども、こちらから一方的にこうだ、というのも言いづらいところもありますので、やはり委員会としてある程度皆さんの意見を伺った中で、折り合いをつけながら最終的な結論に持っていきたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

-----市職員の異動・退職のご挨拶-----

・議長

年度末で非常にお忙しいなか集まっていただいて申し訳ないんですけども、次回の会議もよろしくお願いいたします。

・事務局

長時間にわたりありがとうございました。次回の会議を事務局の案として4月22日の水曜日か4月24日の金曜日を予定しております。基本は午後を予定しておりますので、場所と時間は追ってご連絡させていただきます。

・議長

なかなかスムーズに進まないのがこういう議論だと思います。実は新聞に出ていたんですけども、銚子が豊岡小学校を令和2年度いっぱい廃校になって、春日小と一緒にするという話になったようです。それは議会の方でも了承されたということです。それと、銚子は保育所の統廃合も今日の新聞に出されていた状況であります。それぞれ各市そういう形で進んでいくのかなと思いました。今日の会議のほうこれで閉じさせていただきたいと思います。本日はありがとうございました。